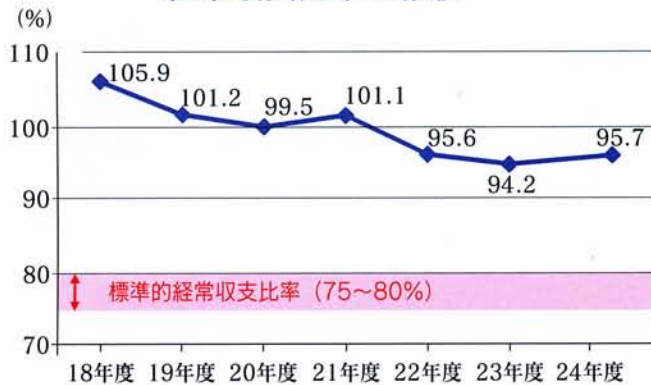


平成 24 年度

決算 6 会計を認定

経常収支比率の推移



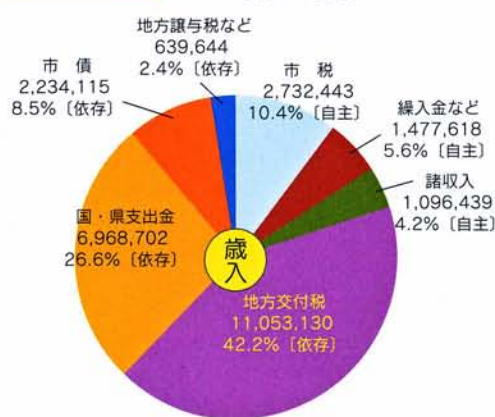
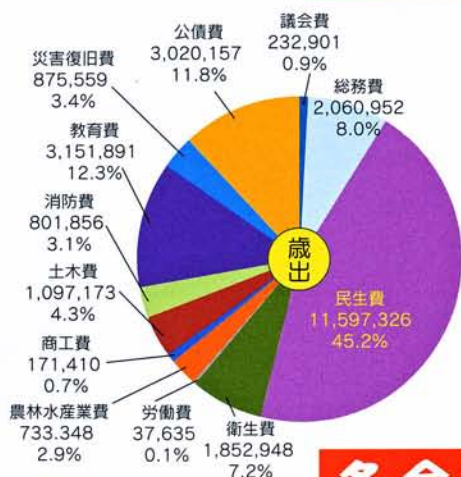
※経常収支比率の見方は 15 ページを御覧ください

決算特別委員会において、平成24年度の一般会計ほか5会計の決算審査を行いました。一般会計においては、歳入総額262億209万円、歳出総額256億3316万円とし、歳入歳出差引額は、5億6893万円です。市の財政状況としては、市税などの自主財源が20・2%、地方交付税や国県支出金などの依存財源が79・8%と、他に頼った自治体運営となっております。

経常収支比率は、95・7%、財政力指数は0・26ポイントと、前年度より若干悪化した結果となりました。

審査の結果、6会計ともに認定されました。

一般会計決算の状況



各会計の決算額

	歳入	歳出	差引額	
一般会計	262億 291万円	256億3,316万円	5億6,893万円	
国民健康保険事業特別会計	53億9,105万円	57億6,805万円	△3億7,699万円	
後期高齢者医療特別会計	6億1,391万円	5億9,364万円	2,027万円	
住宅新築資金等貸付事業特別会計	6,400万円	2,139万円	4,261万円	
介護保険事業特別会計	保険事業勘定	53億5,193万円	53億2,557万円	2,636万円
	サービス事業勘定	5,502万円	5,502万円	0
水道事業会計	収益的収支	6億4,159万円	5億8,509万円	5,650万円
	資本的収支	3億7,254万円	5億2,345万円	△1億5,091万円

※国民健康保険事業会計の不足額は、翌年度歳入繰上充用金で、水道事業会計の不足額は過年度分損益勘定留保資金などで補てんしました。